

# いつまでも、 きみの心に 白鷹を—— ふるさと



山よ ああ 山よ  
空へと 羽ばたく 白い鷹よ  
なせばなる 鷹山公の 山よ  
われら飛び立つ  
目を 世界に 心 ふるさと  
夢を抱いて つらぬけ  
星は かならず またたくよ

白鷹中学校校歌「友よ」2番

グローバルな視野を持つということ  
は、単に広く世界を見るということでは  
ありません。では一体どういうこと  
か。それは、どんなことにも自分から  
積極的に挑戦し、一点に孤立している  
視点を広げていくということ——。  
12人の研修生たちは、言葉や思いがう  
まく伝わらない環境の中、異文化へと  
果敢に挑戦することで、きつとそのこ  
とに気づいたことでしょう。

そして次に彼らに求められること  
は、研修で得たモノ、感じたコトを、  
ほかの生徒たちにもしっかりと伝えて  
いくこと。なぜ世界に目を向けるのか  
を皆が理解したときに初めて、この研  
修の目的が果たされていくのです。

また、町には、将来は町外で活躍し  
ていきたいと考えている子どもも少な  
くはないでしょう。しかし、たとえ町  
を離れたとしても、心に白鷹（ふるさと）  
を感じていれば、その活躍が町の  
活力につながり、「目を世界に、心ふ  
るさと」の意志はつながっていきます。  
そのためにも、次代を担う子どもた  
ちには、いつまでも白鷹町（ふるさと）  
を思う気持ちを忘れずに、これから先  
も広い世界を見ていってほしいと思  
います。